

勝浦市議会だより

みんなのギカイ

2018年 第164号 平成29年12月定例会の内容をわかりやすくお知らせします

特集記事

対談!

勝浦フレンズと市議会



目次

特集記事（対談）	2・3 P
審議結果（トピックス）	4～6 P
委員会活動等	7 P
表彰要綱	8 P
一般質問	8～11 P
きみの未来、あなたの未来	12 P
議会のうごき 編集後記	

平成30年2月
勝浦市議会報
編集委員会
0470-73-6662

特集記事

勝浦フレンズ と 市議会

特集記事第13弾は、市内のソフトボールクラブである勝浦フレンズのみなさんとの対談です。

さて、今回はどのような意見が飛び出すでしょうか？



素晴らしい自然、暖かい人々の存在が勝浦の魅力。

市民が困っていることを議会に反映して、より良い街に。

【勝浦フレンズとは、どのような団体ですか？】

勝浦市内のソフトボールチームは、勝浦ドリームズと豊浜SBCの2チームが存在しています。しかし少子化により、年々子どものソフトボール人口が減少し、また指導者不足の問題もありました。そこで選抜チームを作って、県大会もしくはその上の関東大会、全国大会を目指すということで、勝浦フレンズという合同チームを作りました。現在、市内の小学生を対象に、勝

浦ドリームズが24名、豊浜SBCが23名の計47名で活動しています。

【具体的に、どのような活動をされていますか？】

基本的に毎週末、半日ないし一日かけて練習を行っています。練習場所は、主に市内の学校施設を借りることが多いです。また、公式戦の他にも、各地域との交流戦を行ったり、ソフトボール以外の活動としては、ビッグひな祭りの際の飾り付けなど市内の様々なイ

ベントのお手伝いや、チーム内でのバレーキュー大会、遠足なども行っています。昔の子ども会からの伝統もあるので、そうした活動も大切にしています。

【活動していたいへんなことは？】

子どもの数が少なくなっていますので、ソフトボール人口がこれ以上減らないように様々な努力をしています。例えば、武大生の陸上部にお願いして、早く走れる方法を一緒に学んだり、専

門的な知識を持っている方を講師として呼んだり、レクリエーション的な事も取り入れて部員勧誘を図っているのが現状です。

また、学校統合によりチームの活動範囲が各小学校をまたぐようになっていきますので、送迎などご家族の負担も大きくなっているように思います。

しかし、子ども達が自由に遊べる場所が少なくなっている昨今、子ども達に、自由に体を動かして球技を楽しむ場を提供したいとの思いもあり、とにかくイベントを起こして体験してもらう、ということをやっと続けています。

現在、勝浦市内には球場がありませんので、練習場所は学校施設をお借りして活動していますが、それも大変なことの一つです。

【活動していて嬉しい時は？】

おかげさまで何度か全国大会に出場することができました。全国大会という大きなステージで活躍する機会があることは、小学生の皆さんにとって、とても貴重な人生経験になっていると

思います。これからも、子ども達に大きな舞台で活躍できる機会を提供できるように、また、学校生活だけではなかなか体験出来ないような経験や、大きな「夢」を持っていただけるように頑張りたいと思います。

【地域活性化のために考えている事はありますか？】

勝浦は海が近いので、夏場になると他の地域から合宿に行きたいとの相談も受れたりします。勝浦は素晴らしい環境があるので、ソフトボールと一緒に海水浴やバーベキュー、キャンプ等が企画できれば、日本全国から様々なチームが合宿に来てくれると思います。

また、全国大会の誘致も夢です。現在勝浦市には正式な野球場がありませんが、もし一か所で4面取れるような野球場が出来れば、学校施設も併用し全国大会などの大きな大会も誘致、開催できるようになります。全国大会ともなれば全48チームが一堂に会しますので、その経済効果はとても大きいと思います。

【市議会や議員に望むことは？】

みんなのギカイの対談記事はいつも拝見しており、今回の対談も本当に心待ちにしていました。

少子化については、子育て世代としては本当に不安に感じています。スピード感を持った対策をお願いしたいです。

議員の皆さんには、これからも私達の言葉をしっかりと議会での活動に反映して欲しいと思います。



勝浦フレンズ
掬川佐喜広監督



勝浦ドリームズ
末吉一順監督



豊浜SBC
小野賢明監督

平成29年12月定例会 審議結果

勝浦市議会ではこんなことが決まりました！

○12月定例会議 会期 12月4日から12月14日まで 11日間

●今回審議された議案

市長提出議案	・	17件
議員提出議案	・	3件
陳情	・	0件
請願	・	2件
諮問	・	0件
合計	・	22件

※審議案件一覧表は、6ページに掲載しています。



議会報は、議会で審議された全ての議案の中から、市民生活と深く係わる議案をいくつか取り上げて重点的にお伝えしています。

審議された全議案については、勝浦市ホームページをご覧いただくか、議会事務局までお問い合わせください。

●トピックス その1

勝浦市議会基本条例が制定されました！

発議案第五号

議会基本条例の制定について

勝浦市議会では、平成27年から議会改革検討委員会において協議を重ねてきた「勝浦市議会基本条例」について、これを制定することを決定し、議会基本条例が発議され、本会議にて全会一致で可決されました。

議会基本条例は、議会の役割や理念、活動原則を条文として明確化し、議会が市政発展に向け邁進する事を市民の皆さんに約束するためのものであり、いわば市議会の最高規範となるものです。

条例施行は平成30年4月1日からです。

条例全文はこちらのQRコードからご確認いただけるほか、勝浦市議会ホームページからもご確認いただけます。



●トピックス その2

発議案第六号 「精神障害者も千葉県重度心身障害者医療費助成制度の対象にすることを求める意見書」を全会一致で決議しました。

夷隅精神障害者家族会 やよい会から提出された、請願第四号「精神障害者も千葉県重度心身障害者医療費助成制度の対象とする意見書の千葉県への提出を求める請願」が、全会一致で採択されたことにより、千葉県知事に対して意見書を提出しようとするものです。

内 容

障害者基本法が改正され、精神障害者も「障害者」と規定され、障害者差別解消法は「差別の解消」を宣言している状況の中、身体・知的障害者に適用されている千葉県重度心身障害者医療費助成制度から、精神障害者は除外されている。

これに対し、精神障害者も身体・知的障害者と同等に重度心身障害者医療費助成制度の適用対象とするよう、必要な措置を講じることを強く要望する。

●トピックス その3

発議案第七号 「沿岸小型漁業に配慮した漁獲規制緩和と所得補償を求める意見書」を全会一致で決議しました。

千葉県沿岸小型漁船漁業組合から提出された、請願第五号「沿岸小型漁業に配慮した漁獲規制緩和と所得補償を求める請願」が、全会一致で採択されたことにより、国に対して意見書を提出しようとするものです。

内容は大きく3つ

1. クロマグロの資源管理にあたっては、小規模・沿岸釣り漁業の経営維持を最大限考慮すること。
2. クロマグロの資源管理に取り組む者に対して、漁業所得の減少、収入の減少に対する漁業共済制度の見直しや、新たな保証制度の創設などの措置を講ずること。
3. 魚類資源の保全・沿岸漁業育成のために沿岸漁民専用漁場を拡大すること。また沿岸においては混獲が不可避なことから漁獲枠の増加に努めること。

なお提出先は、内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、農林水産大臣、水産庁長官です。

●審議案件一覧

◎全会一致 ○賛成多数 ×賛成少数

結 果	議案番号	件 名
可決◎	議案第 50 号	専決処分の承認を求めることについて（平成 29 年度勝浦市一般会計補正予算）
可決◎	議案第 51 号	専決処分の承認を求めることについて（平成 29 年度勝浦市一般会計補正予算）
可決◎	議案第 52 号	小高御代福祉基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例の制定について
可決◎	議案第 53 号	勝浦市税条例の一部を改正する条例の制定について
可決◎	議案第 54 号	勝浦市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について
可決◎	議案第 55 号	勝浦市母子及び父子世帯等高等学校等就学費補助条例の一部を改正する条例の制定について
可決◎	議案第 56 号	平成 29 年度勝浦市一般会計補正予算
可決◎	議案第 57 号	平成 29 年度勝浦市国民健康保険特別会計補正予算
可決◎	議案第 58 号	平成 29 年度勝浦市後期高齢者医療特別会計補正予算
可決◎	議案第 59 号	平成 29 年度勝浦市介護保険特別会計補正予算
可決◎	議案第 60 号	平成 29 年度勝浦市水道事業会計補正予算
可決◎	議案第 61 号	指定管理者の指定について ※勝浦市保健福祉センター
可決◎	議案第 62 号	指定管理者の指定について ※かつうら聖苑
可決◎	議案第 63 号	指定管理者の指定について ※勝浦市中倉農村交流館及び勝浦市中倉ふれあい農園
可決◎	議案第 64 号	指定管理者の指定について ※勝浦市観光案内所及び勝浦市観光交流施設
可決○	議案第 65 号	指定管理の期間の変更について ※勝浦市特別養護老人ホーム総野園
可決○	議案第 66 号	指定管理の期間の変更について ※勝浦市デイサービスセンター総野園
採択◎	請願第 4 号	精神障害者も千葉県重度心身障害者医療費助成制度の対象とする 意見書の千葉県への提出を求める請願
採択◎	請願第 5 号	沿岸小型漁業に配慮した漁獲規制緩和と所得補償を求める請願

●議員提出議案

結 果	議案番号	件 名
可決◎	発議案第 5 号	勝浦市議会基本条例の制定について
可決◎	発議案第 6 号	精神障害者も千葉県重度心身障害者医療費助成制度の対象にすることを求める意見書について
可決◎	発議案第 7 号	沿岸小型漁業に配慮した漁獲規制緩和と所得補償を求める意見書について

各常任委員会等の活動報告

総務文教常任委員会

行政視察を実施！

長野県塩尻市・小諸市を行政視察

総務文教常任委員会では、平成29年10月25日・26日の2日間、長野県を訪問し、次の内容で行政視察を実施しました。

1日目の塩尻市のソヤノウッドパークでは、森と生きる森を生かす「信州F・パワープロジェクトについて」を研修しました。本プロジェクトは、森林資源を無駄なく活用し、その利益を山側に還元することにより、林業を産業として復活させ、森林の再生や木材産業の振興を図る取り組みです。

2日目は、小諸市役所で「子どもの体力・運動能力の向上と脳の発達を高める運動遊び事業」を研修しました。運動遊び（柳澤運動プログラム）は、松本短期大学柳澤秋孝名誉教授が膨大な実験と脳科学から編み出したプログラムで、支持力・跳躍力・懸垂力などに注目し、心身を健やかに育もうとするものです。



【塩尻市での視察研修】

産業厚生常任委員会

行政視察を実施！

栃木県那珂川町・茨城県常陸太田市・大洗町を行政視察

産業厚生常任委員会では、平成29年10月18日・19日の2日間、茨城県、栃木県を訪問し、次の内容で行政視察を実施しました。

1日目の午前、茨城県常陸太田市役所では、「少子化・人口減少対策について」を研修しました。

午後からは、栃木県那珂川町役場において説明を受けたあと、県北木材協同組合那珂川工場及び那珂川バイオマス発電所の現地視察を行いました。

2日目は、茨城県大洗町で「アニメによる町おこしについて」を研修しました。



【大洗町での視察研修】

勝浦市議会表彰要綱を制定

議会改革検討委員会より提案をした勝浦市議会表彰要綱が平成29年12月8日に開催された全員協議会により、全議員の承認を受け制定されました。

本要綱は平成30年1月1日施行とし、平成30年1月から12月の期間で対象となる候補者を、選考委員会5名により選考及び決定され、平成31年3月定例会に議場において最初の表彰が行われることとなります。

表彰選考委員会の構成

要綱の規定により議長・副議長・議会運営委員会・総務文教常任委員会・産業厚生常任委員会の各委員長の5名が委員となります。1月12日表彰選考委員会が開かれ、議長が委員長、副議長が副委員長に選任されました。表彰基準の詳細等については、会議を重ねて決定していくこととなります。

勝浦市議会議員政治倫理審査会

平成30年1月13日の高梨弘人議員の逮捕により、勝浦市議会は、1月17日に勝浦市議会議員政治倫理規程に基づく政治倫理審査会を設置しました。(2月2日現在)

また、2月3日の新聞報道のとおり、高梨弘人議員について、千葉地検は2月2日、道路交通法違反と犯人隠避教唆の罪で起訴としましたことをお知らせします。

政治倫理審査会委員

委員長：土屋 元

副委員長：松崎 栄二

委員：磯野 典正

末吉 定夫

鈴木 克己

照川 由美子

戸坂 健一

一般質問の記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。
全文は、勝浦市議会会議録をご覧ください。
また、インターネット録画配信でもご覧いただけます。

12月7日			12月6日		
戸坂 健一 議員	寺尾 重雄 議員	藤本 治 議員	鈴木 克己 議員	佐藤 啓史 議員	高梨 弘人 議員
② 学習支援事業について	① 市内廃校問題について ② 沿岸漁業の活性化と磯根について	① 介護保険制度の現状と今後について ② 国保の都道府県単位化について ③ 水道料金の2段階での引き下げについて ④ 予約制乗合タクシーの利用対象者拡大について	① 過疎地域指定下における行政運営について	① 武道・スポーツの振興によるまちづくりについて	① 外的視点での地域活性について ② 市役所周辺の安全対策と来庁者への配慮について ③ 食べ残し削減について

12月6日・7日の2日間、市政全般について一般質問が行われました。





高梨弘人議員

地域おこし協力隊の活用について

Q 地域の新たな魅力を創出し活力ある持続可能な街づくりに向けて活躍していただく「地域おこし協力隊」として活動する方たちを起用する考えはあるのか、お聞きします。

A 現在、観光協会も法人化されましたので、それらをバックアップするなど必要に応じた地域おこし協力隊の起用について前向きに検討していきます。

市役所周辺の安全対策と来庁者への配慮について

Q 庁舎前の道路横断について、お聞きします。

A 歩行者の安全のために横断歩道設置の重要性

は十分認識しておりますので設置可能な場所の確保に向けて努力してまいります。

Q 庁舎バス停の思いやりについて、お聞きします。

A 来庁者への配慮を踏まえ正面玄関近くへのバス停の移動や庁舎内への待合場所設置について検討してまいります。

Q 庁舎内の快適な温度設定について、お聞きします。

A 来庁者や職員の事務に支障のないよう調整していきたいと考えます。

Q 公共の場への無料Wi-Fi設置について、お聞きします。

A 今後、県の補助金等も活用しながら観光施設や商店街など、さまざまな場所に無料Wi-Fi設置を検討していきます。

食べ残り削減について

Q 子供たちの安全な食

環境を踏まえ学校給食での食べ残り等、取り組みにしている事があれば教えていただきたい。

A 残菜量の軽量について12月1日からは学校ごとの残菜量を計量することといたしました。

Q 宴会での料理をできる限り残さないで食べる取り組みで最初の20分と終わりの10分は自席にて料理をしつかりと味わいましょうとの内容です。そういった20・10運動について、本市の考えをお聞きします。

A 食品ロス削減の観点から、普及啓発活動の周知に努めてまいります。



佐藤啓史議員

スポーツコミッションとスポーツツーリズム

Q スポーツコミッション及びスポーツツーリズムに対する市の見解は？

A スポーツツーリズムは、交流人口の拡大や地域経済への波及効果、知名度アップを図る上で重要な取り組みであり、これを推進する組織としてスポーツコミッションは有効な役割を果たすものと認識している。

Q 元北中学校跡地の運動公園化、国際武道大学や日本武道館研修センターと連携したスポーツツーリズム・武道ツーリズムによる地域振興に対する市の見解は？

A 国際武道大学や日本武道館研修センターには高校生から日本トップレ

ベルまでの多くの選手が合宿で訪れており、今後は各機関と連携して取り組んでいきたい。

スポーツ施設の整備

Q ①野球場、多目的運動場整備の進捗状況は？

A ①硬式野球のできる野球場及び一般のサッカーコートのとれる多目的運動場の整備を検討している。②現在のところ考えていない。③困難である。

Q ①総合型地域スポーツクラブについて②スポーツ少年団について③スポーツ推進委員について。

A ①本市では国際武道大学と連携した地域コ

ミュニティスポーツクラブがある。②少林寺拳法1団体。③12名委嘱している。

「武道のまち 勝浦について

Q 多くの世界レベルの選手が来勝されている勝浦市を「武道のまち」としてPRし、国内外の選手が集まる大会の開催や合宿等の誘致をすべきでは？

A 各機関と連携してPRに努めたい。

広島東洋カープ丸佳浩選手の活躍について

Q 本市出身の丸佳浩選手が今年のセリーグのMVPとなりましたが市の対応は？

A 郷土の誇りとして特別表彰を検討している。





鈴木克己議員

過疎地域指定下における行政運営について

Q 過疎地域指定を受けてから3年が経過している。指定の最大の要因は急激な人口減少と財政力指数の低下であるが、過疎地域指定下での行政運営の基本とは。市長、副市長それぞれに問う。

A (市長) 全国には過疎指定を受けたと望む市町村が多い。

過疎指定を受けたからと言って勝浦が沈没するとは思っていない。指定による財政的なメリットをうまく活用したいと思う。

A (副市長) 過疎債は有利な財源。すべての事業に活用は出来ないので拡充を望む。

Q 3年前にも質問したが、過疎指定の最大要因でもある人口減少の中で、市職員に市外者が多いと思う。災害時等危機管理も含め職員自ら市内在住を考える必要があると思うが現況と対応は。

A 全職員249名のうち69名がいろいろな事情で市外に住所がある。採用試験で、市外者の方が成績が良い傾向なので市外者を採用していることも要因である。

Q 企業誘致に対する支援対応と今後の見通しは。

A 行川アイランド跡地への仮称勝浦シーサイドパークリゾート計画の実現は、雇用の創出、観光客誘致、産業活性化に多大な受益をもたらすものであるため計画実現に向けて支援する。

Q 企業立地推進班を設置した成果と今後の見通しは。



元行川小学校

A 働く場の確保のため、「一丁関連のサテライトオフィスの誘致」に力を入れた結果、元清海小学校に(株)パクチャーの誘致が決定した。

市も(株)パクチャーを育てていく。今は、助走の段階です。

Q 元行川小学校を障害者就労支援施設(障害者100名、関係職員90名雇用)として活用したいとの要望に対しての対応は。

A 避難所、投票所、ひな人形の保管場所として使っているの、地元区と協議して結論を出す。



藤本 治議員

介護保険の現状と今後

Q ①半数以上を占める要介護3までの方が、全国一律の基準での保険給付が受けられなくなろうとしている。これは保険あつて介護なし、国家的詐欺ではないか。②来年度の介護保険料見直しにあたり引上げを極力抑制すべき。③公費と保険の負担割合は現行50対50だが、永久不変のものではないはず。60%に引き上げるよう求めるべき。

A ①確かに要支援1・2の訪問・通所介護が保険給付から総合事業に移りましたが、勝浦では以前と同様のサービスを提供しています。②極力抑えるよう努めるが、現在推計中です。③確かに不

変とはいえませんが。

国保の都道府県単位化

Q ①国保への国庫負担を給付費の50%に引き下げた1984年以前の給付費に対する公費負担割合はいくらだったか。②市町村が一般会計からの法定外繰り入れをしなくても済むような公費負担割合に戻すべきではないか。③マイナスの試算の全額を市民の国保負担軽減に当てるべき。

A ①給付費で60%から70%になる。②法定外繰り入れは解消することが適切。国庫負担の拡大を全国市町村会で要望したい。③慎重に検討します。

水道料金の引き下げ

Q ①南房総地域の水道供給事業の統合と夷隅郡市2市2町の末端給水事業の統合によって水道料金は下がるのか。②大事

なことなのに市民がまるで知らないでいる。いつどう知らせるのか。③統合までの数年に限り、一般会計からの繰り出しと県の補助金を使って1億円の財源で料金引き下げをやるべき。

A ①水道料金は下がることになる。②統合の覚書締結の前に議員への説明が必要と考えている。③県の高料金対策補助金の活用に必要な一般会計からの繰り出しは市の財政を考えると難しいことと考える。

予約制乗合タクシーの利用者拡大について

Q バス停留所から300m以上の範囲など、地域を限定せず、基準は単純にして、ニーズを把握する必要があるのではないかと。②総野と川津の方々の普段の移動手段をお尋ねし、これからの方向を導きたい。



寺尾重雄議員

市内廃校問題について

Q 廃校の今後の活用方針についてお聞きします。

A 地域のコミュニティの場としての提供、防災機能を含めた施設を検討しています。

Q 元行川小学校に社会福祉法人知心会から貸与の要望があったと聞きました。

A 現在、避難場所、投票所等で活用され、また老朽化も進んでいるため、貸し出しが可能か検討しています。

Q 元勝浦若潮キャンパスは賃貸され、校舎が7千236万で解体する予定ですが、耐震済の校舎を活用する考えはないですか。

A 商店街のテナント的な活用等、多方面からの活用を検討します。

Q 校舎B棟を中央保育所園舎として使用した後の活用について伺います。

A 中央保育所園舎としての使用後は、郷土資料館、図書館等として使用する計画です。

Q 跡地店舗ベイシアへの出入口道路ですが、128号線からだけでなく、297号につながる道路建設はお考えでしょうか。

A 道路建設に関しては今後、検討していきます。

沿岸漁業の活性化と磯根について

Q 機器導入事業の五十五歳未満対象の件で、高齢の漁業者への補助について伺います。

A 市単独で補助することとはできません。しかし、要件の緩和について、国

に要望していきたいと考えます。

Q 漁港の空地利用について伺います。

A 財務状況から事業化は困難です。今後は、漁港に配慮しながら、有効的な活用を協議します。

Q アワビ輪採漁場整備事業について伺います。

A アワビ種苗放流事業とあわせ、つくり育てる漁業の推進を図っていきいたいと考えます。

Q ダイビングの状況について伺います。

A 勝浦市の新たな観光資源であり、事業の拡充を検討しています。



元行川小学校



戸坂健一議員

勝浦市の自殺予防対策について

Q 日本の自殺者数は年間3万人前後で推移しており、他国と比べ自殺率が高い状況にある。

A 勝浦市においても、年齢調整自殺率は県内ワースト3と依然高い水準にあり、自治体として自殺者数の現状把握と、自殺に対するこれまで以上に総合的な対策が必要と考える。そこで、自殺の実態に対する、市の現状認識とこれまでの対策をお聞きする。

A 勝浦市における自殺者数の推移は県の衛生研究所のデータにより把握している。

自殺予防対策については、自殺予防に特化した対策は実施していない

が、関連する担当課の窓口で相談などを行っている状況である。

Q 自殺を未然に防止するため、地域の実情に応じた施策を実施する必要がある。総合的な自殺対策を図るためにも、勝浦市の自殺対策計画を早急に策定する必要がある。

A 平成30年度までに策定できるよう準備中であり、健康増進法に基づき健康増進計画に含めて策定を検討している。

Q 勝浦市自殺対策計画については、健康増進計画の中には含まれるのではなく、独自の計画として策定すべき。地域の独自性や状況なども勘案し、市の現状に即した自殺対策計画を策定すべきでは。

A 自殺対策計画の策定に当たっては、近隣の市町村を集めての県の検討会議も予定されている。そこで情報を得ながら対

応していきたい。

学習支援事業について

Q 子どもの教育費は年々負担が増しており、特に生活困窮家庭においては教育にお金をかける余裕はなく、教育格差の拡大が問題となっている。

勝浦市においても教育格差を是正することや、学習に不安のある児童・生徒の基礎学力の向上や家庭学習の習慣づけを図るべく「学習支援事業」を実施すべきと考えるが。

A 教育委員会としても学習支援事業の必要性は認識している。勝浦市教育大綱の中でも、放課後学習指導について記載しており事業化を検討する。



きみの未来、あなたの未来



勝浦中学校 1年
驚見 有咲 さん
す み あ り す

私は、音楽が大好きです。いつも音楽に元気や勇気をもらっています。私は音楽グループを結成して活動することを夢見しています。

小学校の頃、音楽部に入り、音楽の楽しさを知りました。ピアノも習っています。楽器に触れている時の私は、素直になれて、何もかも忘れて集中することができます。いろいろな楽器にも興味を持つようになりました。

最近、ドラムに興味がわいてきました。ぜひ、挑戦してみたいと思っています。

私にたくさんの元気や勇気を与えてくれる音楽。その力を通して、私もたくさんの人に元気や勇気を伝えていきたいと思っています。

そのために、今はいろいろなことに挑戦して、いい音楽につながられるようにしていきたいと考えています。「音楽は世界を変えられる」という言葉を聞いたことがあります。それを実践していけたら最高です。



議会のうごきについて報告します (平成29年11月～平成30年1月まで)

議会のうごき

11月1日	全国漁港漁場大会（岩手県）	14日	議会運営委員会・全員説明会・議会報編集委員会
2日	議会報編集委員会	20日	年末年始特別警戒取締り出動式
4日	かつうら魅力市（芸術文化交流センター）	21日	芸術文化交流センター運営協議会
8日	千葉県後期高齢者医療広域連合議会定例会（千葉市）	26日	介護保険運営協議会
9日・10日	全国都市問題会議（沖縄県那覇市）	平成30年	
12日	西東京市民まつり（東京都）	1月5日	消防団出初式（芸術文化交流センター）
13日	勝浦市農業振興地域整備促進協議会	7日	成人式（芸術文化交流センター）
16日	山梨県都留市行政視察	10日	交通安全祈願祭（遠見岬神社）
17日	議会改革検討委員会	12日	勝浦市議会表彰選考委員会
29日	議会運営委員会	17日	全員協議会
12月4日	本会議 全員協議会・議会改革検討委員会	19日	千葉県南市議会議長会議員研修会（東金市） 議会改革検討委員会
6日	本会議 一般質問	24・25日	千葉県南市議会議長会正副議長研修会（山梨県山梨市）
7日	本会議 一般質問	26日	千葉県国民健康保険運営協議会会長協議会（千葉市）
8日	本会議 質疑 全員協議会・議会改革検討委員会	30日	千葉県市議会議長会議長研修会（千葉市）
11日	総務文教常任委員会	31日	徳島県吉野川市行政視察 後期高齢者広域連合全員協議会 介護保険運営協議会
12日	産業厚生常任委員会		
14日	本会議 最終日		

編集後記

今年は勝浦市が市制施行して60年の記念の年。60年前には「イカす」（洒落ている）、「シビれる」（感動を表わす言葉）が流行しました。「イカす」市民とともに、「シビれる」年にしたいと思います。

議会報編集委員 佐藤 啓史

お問い合わせは、勝浦市議会報編集委員会（73-6662）まで

勝浦市ホームページ <http://www.city.katsuura.lg.jp>



QRコードは
ここだよ！

勝浦カッピー

